

「国土交通省北海道開発局・PAPAIOS共催 地域連携セミナー データで読み解く北海道経済ワークショップ」の開催結果

概要

北海道経済や地域づくりに関心のある北海道内の大学生を対象に、経済分析スキルを身につける機会を提供し、北海道の未来を担う人材の育成を目的として、この度初めて、環太平洋産業連関分析学会（PAPAIOS）と共催で地域連携セミナーを開催しました。

詳細

日時：令和7年10月4日（土）11：00～16：00
場所：エア・ウォーターの森 1階 イベントホール
共催：環太平洋産業連関分析学会（PAPAIOS）
後援：北海道
参加人数：19名



プログラム

開会挨拶

環太平洋産業連関分析学会 会長 石川 良文氏

産業連関分析は、ノーベル経済学賞を受賞している歴史ある手法であり、経済構造や波及効果分析ができます。産業連関分析を今回実際に手を動かして体験することで、今後、分析ができる社会人へ成長されることを願う思いを語られました。



石川会長

第2部 「Fビレッジがもたらす北海道への経済波及効果推計」

◇ 班別検討 | 令和7年度のFビレッジの経済波及効果推計

人々の経済行動がどれほどの経済効果を生むのか、産業のどの部門にお金が落ちるのかなど、北海道ボールパークFビレッジを事例に、実際に経済波及効果を推計する体験をしてもらいました。前提条件となる観光客数や消費単価を班別に検討・推計し、最終需要額を推計後、当局のHPにて公表している「経済波及効果分析ツール」を使用して経済波及効果を推計しました。



議論する学生の様子

◇ 発表

設定する前提条件の差によって、各班ならではの視点が結果に表れていました。ある班からは中長期的効果とリスクとして、今後の持続的な波及や投資回収問題等の指摘もありました。



発表する学生の様子

第1部 産業連関表に関する講演

◆ 「産業連関表から読み解く北海道経済」
北海道開発局 開発監理部 開発計画課
高橋 美穂

白衣の天使で知られているナースが、実は統計学者でもあったという事例を用いながら統計の重要性について説明した後、産業連関表の見方や、全国と比較した北海道の産業構造について紹介しました。



入江教授

◆ 「経済波及効果はどう測るのか
～産業連関表の活用事例紹介～」
近畿大学 短期大学部 教授 入江 啓彰氏

経済波及効果の推計方法をはじめ、産業連関表の活用事例として、今年開催された大阪・関西万博や過去にプロ野球チームがリーグ優勝した際の経済波及効果についてご説明いただきました。

～ 各班の推計結果 ～

グループ	生産誘発額 (億円)	租付加価値誘発額 (億円)	新規就業誘発 (人/年)
A班	1,851	1,010	19,654
B班	1,737	947	18,669
C班	1,806	975	19,097
D班	1,916	1,032	20,544

※この結果は、あくまでも学生によるワークショップでの試算です。

なんと・・・

生産誘発額に約200億円の差が生じました！

今後の展望

野球以外のイベントや商業施設の拡充により、普段使いを促進し、地域住民の来場を促すことが重要であるという意見もできました。

「国土交通省北海道開発局・PAPAIOS共催 地域連携セミナー データで読み解く北海道経済ワークショップ」の開催結果



◇ 講評

近畿大学 教授 入江 啓彰氏 / 札幌大学 教授 武者 加苗氏

入江教授からは、最終需要の想定値設定により、各班の結果に**バラツキが生じたこと**に触れながら、経済波及効果を高めるには、人数の増加や消費単価を上げることが考えられるものの、**需要と供給のバランス**を考慮する重要性も語られました。

武者教授からは、同じツールを使用しても、前提条件を変えることによる結果の変化に、**分析の面白さ**を学生が理解できたのではないかと述べられました。また、「値上げが悪い」、「経済波及効果は大きい方がよい」といった曖昧な考えではなく、**推計データに基づいた政策提言や事業計画を提案することの重要性**を語られました。

閉会挨拶

北海道開発局 開発監理部 開発計画課長 松永 明博

今回、産業連関表というツールを通して、現実の産業構造の中でどのような動きが生じるのかを体験的に理解できる機会となり、今後の経済ニュースを読み解く新たな視点、将来のキャリアを考える上で活用いただけることを期待すると締め括りました。

松永課長

ご参加いただいた学生の皆さま、
関係者の皆さまありがとうございました。

< 経済波及効果分析ツールのご紹介 >

STEP 1 : 最終需要額を産出 例：観光客数×消費単価

STEP 2 : 産業連関表の部門に分ける (コンパート)

STEP 3 : 最終需要額をツールに入力

最終需要額を入力すると・・・

表やグラフに
見える化！

アンケート結果 (抄) 計19名

Q. 今回参加されて、友人・知人等に勧めたいと思いましたか。

A.

理由

- ・他校の学生とのふれあいや経済のことを学べる貴重な体験であったため。
- ・短時間でここまでの知識や経験をえられる機会はありませんと感じたため。
- ・今後の人生に役立ちそう。
- ・実際に推計したことで新たな発見があったため。等

今回参加された**全員**が
今後の学習や研究に役立つと回答！

参加者のワークショップ全般の感想

- ・データにすると、感覚では分からないことが見えてくると思った。
- ・普段の大学の講義では学ぶことのない「産業連関表」について学ぶことができ、有意義な時間だった。等